

# 令和5年度 第1回みき歴史資料館協議会議事録

## 1 開会日程

- (1) 開会 令和5年10月19日(木) 午前10時
- (2) 閉会 令和5年10月19日(木) 午前11時30分

## 2 場 所 　　みき歴史資料館 3階会議室

## 3 議 題

### (1) 報告事項

- ア 令和5年度上半期実施事業報告・利用者実績報告
- イ 令和5年度下半期実施事業計画

### (2) 協議事項

- ア 令和6年度事業計画予定(案)について
- イ その他

## 4 出 席 者

- (1) 委 員 木村 修二、安田 信吉、吉岡 雅寿、大塚 康生、松下 君子、真野 朱美
- (2) 事務局 本岡教育総務部長、手島文化・スポーツ課長、冨田館長、金松係長

## 5 公開・非公開の別 　　公 開

## 6 傍聴人の数 　　0 人

\*\*\*\*\*

## 1 開 会 　　木村会長あいさつ

## 2 報告事項

- (1) 令和5年度上半期実施事業報告・利用者実績(資料1・3・4)及び令和5年度下半期実施事業計画(資料2)

(事務局から報告)

[委員]

アンケート結果にある「8 今後取り上げて欲しい内容」について、自由記述として8件の要望があったという認識で良いか。

[事務局]

8件以外に金物関連の要望はあったが、金物資料館があるため省いた。

[委員]

金物に関する展示は、市史編さん事業でも古文書調査をしており、取り上げ方など工夫すれば可能だと思うので検討いただければと思う。

また、同じアンケート結果にある「9 その他のご要望・ご意見」には、肯定的意見が多く挙げられているが、今後の創意工夫には批判的意見は参考になるため、そういった意見があるのであれば挙げていただきたい。

[事務局]

資料館としても批判的な意見こそ報告し、資料館として対処していくことが重要であると認識している。批判的意見については、アンケート結果にも挙げている道路の分かりにくさや見やすい看板設置の要望は何件かいただいたが、批判的意見はなかった。

[委員]

イベントを自由参加で実施すると参加者数が非常に多くなり、歴史ウォークで対応に苦慮したことは想像に難くないが、年4回開催する企画展は、似通った展示内容にならず、バリエーションを確保していけるよう検討していく必要があると思う。

[委員]

アンケート結果でも、来館者の内、60代以上の高齢者割合が多いように見受けられるので、建物の老朽化対策としてトイレの洋式化を検討いただければと思う。また、昔訪れた千葉県佐倉市にある国立歴史民俗博物館では、各展示資料の片隅にプリンタが設置されており、退館時にいただけるフォルダに綴じれば、自分専用の図録ができるようになっていたので、資料館でも必要な展示資料の解説をスマートフォンなどにダウンロードできるシステムを構築できないだろうか。

[事務局]

企画展やイベントのバリエーションに関する検討は、昨年度の第2回みき歴史資料館協議会でもご指摘いただいた点であり、その通りであると思っている

が、少しずつでもバージョンアップできるよう工夫を重ねていきたいと考えている。

トイレの様式化については、多目的トイレも含め1階部分は改装済みであるが、費用も掛かることから2階及び3階部分は未改装のままである。また、展示解説のデジタル化についても、先行投資という面から今後の検討課題として承っておく。

[委員]

今後の課題にある小中学校との連携について、個人的に働きかけができず反省している。小中学校での行事は、新型コロナウイルス感染症流行前の体制に戻りつつあるものの、リセットされた感があり、出前授業などを自主的にお願いするところまで手が延ばせていないのが実情である。ただ、金物体験やゴルフ体験は、PTAの学年行事や学校の行事とタイアップして実施していることから、年度が変わっても前の学年が行っていたということで予定に組み込んでいる。また、小学6年生を対象にネットモラル教室として大学生を講師とした授業や、消防署職員による救急法の体験授業も実施していることから、年間行事予定に組み込むためにも年度末に案内をいただければと思う。

[委員]

小中学生がそういった体験イベントや資料館事業に触れることは、ミュージアムリテラシーの涵養にもつながることから、資料館でも積極的に働きかけをしていただければと思う。また、古文書解読授業では市史編さん室も協力できるので、是非、声をかけてもらえればと思う。

[委員]

アンケート集計でも、高齢者は関心を持っておられる割合が多いようだが、個人的に来館するのが難しい方が多いのも事実だと思う。そこで、敬老会などで20名程度参加を募り、資料館に来館しようとした場合、対応は可能か。もし、可能であれば、他の地区の敬老会にも声をかけていきたいと思う。

[事務局]

個人だけでなく団体の来館も歓迎する。ただ、人数が多い場合、企画展開催中であれば2階も展示していることから、いくつかグループに分かれて見学さ

れた方がゆっくり観覧できると思う。また、事前予約していただければ、学芸員による展示解説も可能である。

[委員]

東播磨流域文化協議会の助成を受け8月に開催した「楽しいミニSL乗車体験会」は、酷暑の中でのイベントだったため、来年度以降に同様のイベントを計画するのであれば、時期をずらして開催していただきたい。また、終了後にイベントを知ったという意見もあったことから、周知方法についても再考をお願いしたい。

[委員]

猛暑により夏季の集客イベントを計画できないとなると、資料館として厳しくなる部分もあるだろうが、野外イベントは開催時期をずらし、夏季は室内イベントを実施するなど、これまでも資料館として考慮していると思うが、計画立案の際には注意いただければと思う。

[委員]

歴史ウォークは通常、午前中で終了するのか。また、参加者は市外からの人が多いのか。

[事務局]

歴史ウォークは午前中で終了する。また、参加者については内容によって異なり、城跡を巡るコースの場合、市外からも多くの方に参加いただいている。

[委員]

観光協会では、午後からのイベントを歴史ウォークに合わせて開催できれば、相乗効果も得られると思うので、検討していきたいと思う。

## 2 協議事項

### (1) 令和6年度事業計画予定(案)について(資料5)

(事務局から説明)

[委員]

SAGA2024連携企画展について、名護屋城に関する資料の展示を考えているのか。

[事務局]

基本的には、三木城及び名護屋城の紹介となる。また、佐賀県立名護屋城博物館では、黄金の茶室を展示されていることから、お茶に関する展示も考えておられるようで、資料館からは秀吉関連資料に加え、三木城の発掘調査成果の展示も考えている。

[委員]

馬術競技の三木ホースランドパークでの実施にあわせた企画展のようだが、展示資料が多くなるようであれば、2階の企画展示室に加え、1階の常設展示室のスペースも活用して開催しても良いのではないかと。

[事務局]

三木ホースランドパークは、大阪オリンピックの馬術競技実施を構想していたなど国際規格スリースター級の総合馬術競技を実施できる国内唯一の施設ということもあり、佐賀国体でも三木ホースランドパークでの実施を予定されている。

※ 10月20日(金)、佐賀県立名護屋城博物館より予算の都合で開催できない旨の連絡があった。

(2) その他

4 閉 会 大塚副会長あいさつ